(1面)		平成25年度事務事業評価シート 平成 25 年 6 月 25 日作成									作成		
事務事業	■サービス部	V 87	-03 史跡買収	事業									
No./名 称	口支 援 部	門 7777	2000										
主管課	文化財課			関連課	世界遺産登録推進担当								
分野名	歴史環境												
目標		- I- + 1L			± /- >								
(目標値)	国指定史跡	の恒久的	な保仔を図る	ため公有地化	ごを行う。								
人口等の	データ区分	2	24年度	2	23年度		22年度			備	5		
データ	人口		77,224人		77,204人		177,161人		各年4月				
	世帯数	79	,669世帯	79	,217世帯		78,812世帯	į (1	(住民基本台帳)				
	事業の対象者数												
運営資源	決算値(千円)		311,564		20,617		242,929						
状 況	(国・県)		249,248		80,302		195,408						
	(負担金等)		46,600 15.716		106,700		47.501						
			1.0	,	33,615	-+	47,521 0.5						
	人員配置数		8.174		1.0 8.762		4.845						
人 件 費(千円) 協 働 の		0,174			0,702		7,070						
	パートナー												
事務事業	総事業費(千円)	(319,738	7	729,379		247,774						
運営経費	市民1人当		1.804		4.116		1.399						
	りの経費(円)		1,004		4,110		1,055						
	対象者1人												
	当りの経費(円)					L							
ベンチマーク	団体名⇒												
(県内外自治体													
や民間団体と の比較値)													
指	標	評価	年度	21年度	22年度		23年度	24年度		最終年	度(27年度)		
史跡買収面積(m ³)		0	目標値		22,455 17,207		18,243	25,230		3,662			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退)	実績値	1,445	1,029		18,197 25,		i,193				
評価のポイント													
	①効率性	重業費や	人	わけたいか		の妥当性	事業の目的と政策	€·施策体系の	り目標とか	を 全して	いるか。法的		

	#1 III 1 1 1 1 1				
	評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。		事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
			事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した 場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価		要改善=△(評	価の視点を参照)	⇒	方向性		€•拡大 B:∃ 6縮小 E:廃		:改善・見直し
	311,564千円	①効率性	〇 ②妥当性	〇 ③有効性	〇 ④公平性 〇	⇒	□A	■B	□C	□D	□E
史跡買収事業	事業の概要	国指定史路	ホの公有地化る	€図る。							
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□С	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□С	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										

事務事業の課題及び取組状況

	H24年度の課題	史跡の整備及び維持管理に係る経費の不足		
Tità	果題解決のための取組	県費補助金の上限補助率が大幅に下回っている状況から、県に対し、上限補助率での補助金執行を要望した	取組の結果	□解 決 ■未解決
	未解決の課題	県費補助金の上限補助率が大幅に下回っており、買収要望に迅速に対応できない		

中事業の評価と今後の方向性

	7	④公平性	0			В	茶木久美子
中事業の評価	要改善=△ (評価の視点 を参照)	③有効性	0		大売前回とおりに負収を実施してリステで、系志圧がのれるは、優先順位を決め、買収計画を見直すなど対応をしている	_	課長(代理)
		②妥当性	0	今後の	実施計画どおりに買収を実施して行く中で、緊急性があれ	む	課長等名
	週旬一〇	①効率性	0		A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直LD:統合縮小 E:月	※□事業完了	

(2面) 個別事業の概要 (単位:千円)

(2面) 個別事業の概要		が似女			1			(手)	<u> </u>
						評価⇒適切=	■〇、要改善=	△(1面の評価の	の視点を参照)
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	①効率性	②妥当性	3有効性	④公平性
史跡買収事業	主な個別事業	169 169 169 169 169	史跡永福寺跡土地鑑定評価業務委託 史跡永福寺跡土地購入 史跡鶴岡八幡宮境内土地鑑定評価業務委託 史跡鶴岡八幡宮境内建物等評価業務委託 史跡鶴岡八幡宮境内土地購入 史跡鶴岡八幡宮境内建物等補償 史跡北条氏常盤亭跡土地鑑定評価業務委託 史跡北条氏常盤亭跡土地購入	355 33,798 481 956 112,823 27,261 1,265 176,168	105 28,360 105 494 94,435 29,163 306 158,596	O O O O O O O	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	ののののののののののの	0 0 0 0 0 0 0 0 0
	主な個別事業								
	主な個別事業								
	主な個別事業								
	主な個別事業								